

オレンジ通信

No.
132

発行日：2022年1月4日
編集＆発行：橘一吉工務店
総務部
電話：087-861-5470
HP：<http://www.tatibananakk.jp>



明けましておめでとうございます
本年もよろしくお願ひ致します

弊社の取り組み

認証・登録証
認証番号 0009738
登記者 株式会社橘一吉工務店
登記者住所 埼玉県深谷市南郷町2丁目2番5号
登記者人名 橘一吉
登記登録年月 2013年11月18日
登記登録年月 2021年11月18日
登記登録年月 2023年11月17日

上記登録者は「エコアクション21」(ライドマイ-2017年版)準拠の
要領事項に適合していることを証します。

一般財団法人 持続性推進機構
理事長 森本英香

↓弊社ホームページQRコード



エコアクション21



エコアクション21
環境経営レポート



対象期間：2020年7月～2021年6月

発行日：2021年8月1日



株式会社 橘一吉工務店

弊社は、2013年11月18日に「エコアクション21」の認証登録を受けました。

2年ごとに更新審査を受けることになっており、2021年には、4回目の更新審査を受け、8年間継続しています。

更新審査の間の中間審査を含め4回審査を受けると審査員が変わり、様々なアドバイスを受けています。

P D C A サイクルに基づき、「環境経営方針」(基本理念・行動指針)を掲げ、「二酸化炭素排出量の削減」「廃棄物の削減・リサイクルの推進」「水使用量の削減」等3年間分目標値を設定し、目標達成に向けての具体的な実施項目を日々実行し、決算月6月末ごとに、1年間の達成状況を数値化し、検討・改善し、次年度に向けて目標を立てるということを毎年行っております。

仕事を通じて環境に貢献するというエコアクション21の取組です。

毎年「環境経営レポート」を作成し、ホームページにて公開しております。よろしければ、ご覧ください。

HPアドレス：<http://www.tatibananakk.jp>

工事だより

国立療養所大島青松園大島会館渡廊下整備工事



国立療養所大島青松園大島会館渡廊下整備工事が完成しました。
木製なので、温かみのある渡り廊下になっています。
島での工事でしたので、船の時間や天候を気にしながらの作業でした。

香川県HPより →



知っ得情報

季節に関する住まいのお悩み ~リクシルHPより~

1月に入り、だんだんと寒さが厳しくなってくる時季が来ました。

住宅の寒さの主な原因是、扉や窓の「断熱性能」に関係があります。

暖房を使用しても寒さが改善されないという住まいの場合、「断熱性能」を高めるリフォームをすることで住まいの温度環境を向上させられます。

住まいの寒さの原因となる、断熱性能を上げるリフォーム方法をご紹介します！

対策方法1 「扉」を断熱性能が高いものに変える

東北、北海道などの寒い地方では、扉や窓の断熱性能の対策がしっかりと施されています。

寒冷地仕様の扉は、断熱材を十分に挟んでいたために分厚く、また複層ガラスを使用しており、とても寒さに強い構造になっています。



対策方法2 「窓」を断熱性能が高いものに変える

部屋の空気は、窓などの開口部から^{*}「58%」の熱が流出してしまうというデータが発表されています。

そこで、窓の断熱性を高めて、暖房で温めた空気を

外に逃がさないようにしっかりとキャッチしましょう。

窓の断熱性を高めるには、外気と部屋の空気をしつ

かりと隔てることがポイント！既存の窓をそのままに

内窓を取り付けて断熱効果を高めるリフォームがお

すすめです。

内窓を取り付けると、窓と窓の間に空気の層を作ることで、断熱効果が生まれます。

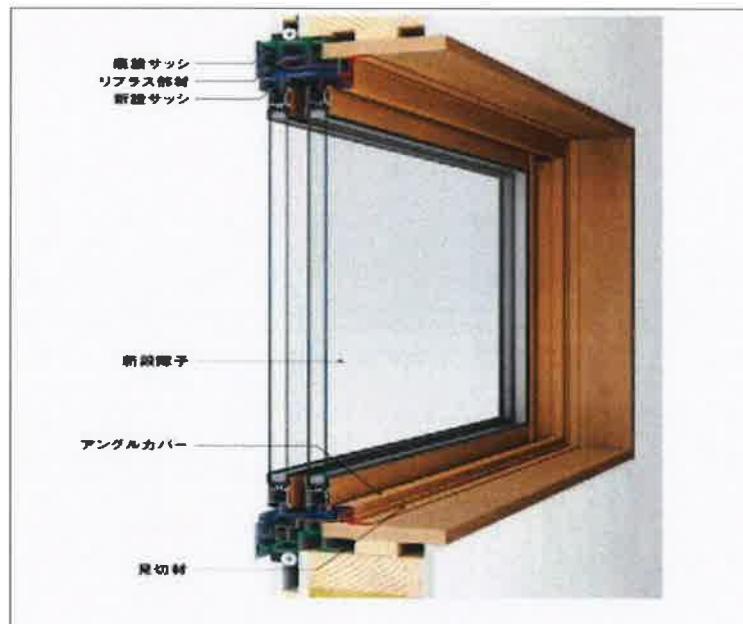
断熱性が高まるので、**結露しにくい窓（結露対策1）**

になります。また、冬の寒さだけでなく、夏の暑さ

も軽減する効果があるため、1年を通して有効なリフォームとなります。



結露対策2 複層ガラス窓に交換



内窓は、窓が二重になることから、掃除の手間が増えるという点が気になる方もいるのではないでしようか？

もし、そういう手間を考えたときに便利なのがリクシルPATIOリフォームの窓「リプラス」です。

既存のサッシ枠、窓枠をそのまま利用し、壁を壊すことなく窓を交換できます！

リプラスに交換することで、二枚のガラスの間に中空層、乾燥剤を設けられ、一枚のガラスよりも断熱性が高まり、結露の軽減に繋がります。

乾燥対策 部屋の湿度を調整する壁材を導入する

乾燥対策といえば、加湿器が一般的ですね。しかし近年では

部屋の湿度を一定に調整してくれる壁材があるのです！

リクシルPATIOリフォームでは、「エコカラット」という壁材を使用しています。エコカラットは湿度をほどよく保つ構造をしています。具体的には、1ナノメートル（1mmの100万分の1）という非常に小さな孔が空いており、そこで空気の吸排出を行うというものです。嫌なニオイを吸収したり、ちょうどよい湿度を保つ構造になっています。

